

## 【たましろの郷後援会役員会】

**施設から** 1月末施設でインフルエンザ患者が発生し通所を中止した。罹患者が10名を超えると施設として届出が必要となるが6名で抑えることができた。職員、看護師の努力のおかげ。職員の応募は数件きており面接中。

**法人本部から** 6月評議員会にて新しい理事が決定する。就労規則なども改訂予定。

**事務局から** 2016年度会員数/個人1013名(1093口) 団体53(103口)・募金箱累計¥2,298,379(2/4現在)

**会計報告** 今後の収入見込みを入れても150万円不足。赤字で計上し本部会議で報告 戦時体験の収益がなくなり、代わる企画もなかった等複数の要因が重なった。

**たましろフェスタすみだ** 会場視察 ホールも広く、模擬店も多く出せる。

**戦時体験に代わる企画** ろう重複や運動について考えるもの、みんなが仲間とともに楽しめるもの、など検討中。

**今後の予定** 3/ 4 (土)・5 (日) 耳の日記念文化祭  
6/10 (土) 報告集会  
4/16 (日) 台東手話サークル・出前講座  
(たましろの郷後援会役員会 天野)

## 広報班 サークル訪問記

～青山学院手話サークル～

2016年11/16(金)、渋谷にある青山学院大学の手話部に訪問してきました。

秋の文化祭巡りで伺ったところ、ちょうど新役員が外部との関わりにも積極的な代とのことで、活動訪問も歓迎していただけました。

学生は健聴者のみが10人ほど集まっていたのですが、大学まわりで私ともよく会うろうの方が教えに通っていて、魚の種類や野菜の種類など、細かい単語まで学習に及んでいました。

その日は単語学習の他に総当たりコミュニケーション練習やテーマ当て伝言ゲームなどもあり、コミュニケーション練習の時に都サ連としての自己紹介も兼ねて個々に話をさせていただきました。

また、ろう者が経営する飲食店に行く企画をサークルで立てたりなど、積極的な姿勢がよく伺えた青山学院大学手話部でした。

(文責 広報班 大木)

## 都サ連一日研修会報告

2017年2月5日(日) 日本大学文理学部(百周年記念館内 国際会議場)をお借りして実施しました。一日研修会のテーマとしては、やや堅めで興味をもたれた方が少なかつたのかも知れませんが、手話サークルの円滑な運営や社会的役割、IT時代に対応した組織体制などなど…、サークル運営に携わっている方々には、ご自分のサークルの課題解決に、色々なヒントが得られたのではなんでしょうか。参加した方から「期待に反して(?)とても参考になる充実した内容だった。」という嬉しい感想も頂きました。参加者112名(うち招待3名)でした。

皆さまから寄せて頂いたアンケートは70枚、下記の通りです。

◇参加回数：初めて12名 2回目13名 3回目12名 4回目以上33名

◇回答者：聴者64名 ろう者3名 難聴者2名 不明1名

○午前の部 良かった・大変良かった53名 普通15名 良くなかった1名 無回答1名

(主な意見)

- ・他の地域の状況が分かって良かった。
- ・「サ連」は、単に「サークルの集まり」ではなく、全国組織としての役割があることがわかった。
- ・大和田さんのお話は面白くて分かりやすかった。
- ・午前のテーマは資料配付のみで済む。時間の無駄。

○午後の部 良かった・大変良かった59名 普通6名 無回答5名

(主な意見)

- ・災害時のサークルの役割(安否確認方法など)を、日頃から考えておく必要があると思った。
- ・今後、何をすべきか(事前準備・災害時・復興時)を考える上で、とても参考になった。
- ・東京にも必ず起きると言われている大事な問題なのに、参加者が少なく残念だった。
- ・ディスカッションがとてもためになり良かった。もっと時間をとってほしかった。
- ・学生さんの参加があるのはいいこと。若い人の意見が聞けて良かった。

## ○その他の意見

- ・ パワポの数字が小さく見づらかった。 スクリーンは大きく見易かった。
- ・ 舞台が暗かった。後で改善された。
- ・ トイレタイムを考慮してほしかった。
- ・ 今回の会場は広くて良かった。
- ・ 空調については、「良かった」と「寒かった」 両意見あり。
- ・ ランチタイムが短かった。
- ・ 書籍の販売がある時は事前にインフォ（表題・価格など）してほしい。

その他、スタッフへの労いの言葉も多数頂きました。

（事務局長 河野）

## 都サ連一日研修会感想

以下東京大学手話サークル「しゅわっち」3名の感想です。

①東京大学手話サークル「しゅわっち」の会長の齋藤 証二です。先日の東京都手話サークル連絡評議会一日研修会への招待ありがとうございます。勉強になる、とても充実した研修会でした。熊本、福島、東京の手話サークルの現状と課題の違いは大変興味深かったです。震災の体験の話聞き、事前の準備の大切さを考えるとともに、もし生活している地域などで地震が起きたときに自分ができることは何があるだろうかと考えました。東京大学手話サークルしゅわっちの他のメンバーに本日の講演の内容を伝えるとともに、サークル内でも災害時の対応などを考えたいと思います。

②今回の講演会では、災害時における聴覚障害者支援について、県手連や地域の手話サークルの観点からお話をいただきました。東日本大震災や熊本地震を実際に経験され、当事者として支援に携われたお二方の言葉には大変説得力があり、現状の課題や問題点をよりまざまざと感じさせられました。この講演会で多くの学びや気づきに感化させられましたが、何よりも大切なことは、これらの経験を決して風化させることなく、またより多くの聴覚障害に関わる方々に受け継いでいくことだと思います。昨今は高齢化が社会問題となり、多分に漏れず手話サークルでも高齢化が進んでいるというお話もありました。そのような状況ではやはり、私たち学生をはじめとした若い力が少なからず必要になってくることと存じます。これからの社会を担っていく一員として、今一度、過去の経験から学び、現状を見つめ、それらを未来に生かしていく、という意識を改めて持ちながら、今後の活動に努めていきたいと思っています。

③先日は都サ連の一日研修会にご招待いただきありがとうございます。熊本県・福島県・東京都と地域の手話サークルの活動について多少なりとも知ることができ、学生の手話サークルしか知らない私にとっては非常に興味深かったです。災害におけるろう者、聴覚障害者支援については、手話サークルやその他民間団体、公的機関の協力が非常に重要であると感じましたし、このことは震災のみならず全般に通じることと思います。震災についての対応について考えるには震災と震災の間しかないわけで、特に東日本大震災や熊本地震後の今だからこそより一層考えるべきことであろうと認識を新たにすることができました。いつか来るであろう震災時に我々も力となれるよう、手話サークルに所属する者として考えていきたいと思っています。



## たましろの郷出前講座

たましろの郷って何?? ろう重複って??

サークルの総会で! 新年度の企画に! どこでも出前します!

たましろの郷後援会: TEL & FAX 03-5468-3613